

認可保育所の利用定員の変更について

2023年4月からの認可保育所の利用定員の変更（減少）について、市内の事業者に対し意向確認調査（2022年12月）を実施したところ、5園から申出がありました。各事業者と協議をした結果、申出があった4園について、別紙（新規1園、継続2園、新設園1園）のとおり利用定員を変更（減少）いたします。

なお、1次募集の選考結果に基づき利用定員を設定していることから、2次募集の結果によっては、今回設定する利用定員から変更となる場合があります。変更した場合には、次回会議にてご報告いたします。

担当：子ども生活部 子育て推進課

【利用定員減少園（新規）】

No	園名	地域	定員	3号			2号			計
				0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
1	わかば 保育園	町田	認可定員	9	16	20	20	20	20	105
			利用定員 (2022)	9	16	20	20	20	20	105
			利用定員 (2023)	9	16	20	18	20	17	100
			1次募集 (結果)	(9)	(14)	(20)	(14)	(20)	(17)	(94)
			【変更理由】（施設側理由） 2012年4月から認可定員と実利用人数との乖離が生じているため。							
【協議結果】 当該施設は2号児に欠員が生じている。利用定員の減少にあたって、欠員が生じている3歳児及び5歳児に受け入れ枠を1名以上ずつ残し、今後の利用希望者にも配慮した定員構成にしている。また、周辺の保育所においても減少する年齢区分の欠員は生じているため、当該施設の利用定員減少による保育ニーズの確保量の不足は生じないと考える。										

【利用定員減少園（継続）】

No	園名	地域	定員	3号			2号			計
				0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
2	まなざし 保育園	忠生	認可定員	12	18	20	20	20	20	110
			利用定員 (2022)	12	18	14	19	13	14	90
			利用定員 (2023)	12	18	18	11	18	13	90
			1次募集 (結果)	(3)	(13)	(16)	(10)	(18)	(13)	(73)
			【変更理由】（施設側理由） 3,5歳児の欠員が著しく、認可定員と実利用人数との乖離が生じているため。							
【協議結果】 当該施設は全年齢区分において多くの欠員が生じている。利用定員の減少にあたって、2号児の受け入れ枠を1名残し、3号児は2歳児2名分の減少に留めるため、今後の利用希望者にも配慮した定員構成にしている。また、周辺の保育所においても減少する年齢区分に欠員は生じているため、当該施設の利用定員減少による保育ニーズの確保量の不足は生じないと考える。										

No	園名	地域	定員	3号			2号			計
				0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
3	なごみ第二 保育園	町田	認可定員	6	14	20	20	20	20	100
			利用定員 (2022)	6	14	20	17	14	19	90
			利用定員 (2023)	6	14	20	18	19	13	90
			1次募集 (結果)	(6)	(12)	(17)	(15)	(18)	(11)	(79)
			【変更理由】（施設側理由） 恒常的な定員割れのため。							
【協議結果】 当該施設は2号児に多くの欠員が生じている。利用定員の減少にあたって、3号児は減少せず、3～5歳児に受け入れ枠を1名以上ずつ残し、今後の利用希望者にも配慮した定員構成にしている。また、周辺の保育所においても減少する年齢区分の欠員は生じているため、当該施設の利用定員減少による保育ニーズの確保量の不足は生じないと考える。										

【利用定員の減少（新設園）】

No	園名	地域	定員	3号			2号			計		
				0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児			
4	子どもの森 ゆうぱーく 保育園	南	認可定員	—	15	16	23	23	23	100		
			利用定員 (2023)	—	15	16	23	15	6	70		
			1次募集 (結果)	—	(15)	(16)	(23)	(10)	(3)	(62)		
			【変更理由】（施設側理由） 新設園のため、4歳児及び5歳児クラスにおいて、認可定員と実利用人数との乖離が生じているため。									
			【協議結果】 当該施設は2023年4月開所予定の新設園である。新設園については、開設後数年間、4～5歳児の定員に空きが生じやすいため、定員の調整を行っている。利用定員の減少にあたって、4～5歳児に受け入れ枠を1名以上ずつ残し、今後の利用希望者にも配慮した定員構成にしている。また、周辺の保育所においても減少する年齢区分の欠員は生じているため、当該施設の利用定員減少による保育ニーズの確保量の不足は生じないと考える。									